



中津川市にこんな町並みがあつたらいいな! コンテスト!!

ごあいさつ



岐阜県建築士会
中津川支部長
高木 章

「中津川市にこんな町並みがあつたらいいな!」コンテストに応募していただいた小学生の皆さん!ありがとうございました!今後、中津川市では、2027年のリニア中央新幹線の開業に向けて、岐阜県駅までのアクセスが良くなるように新しい道をつくったり、田んぼや畑を整理して新たに住宅地を整備したり、働ける場所を増やすために大きな企業にきてもらえる工場用地を整備したりして、少しずつ変わってきます。今回のコンテストでは、現在、中津川市に住む皆さんはもちろんのこと、リニア岐阜県駅が出来てから中津川市を訪れ、移住しようとする人にとって「いいな!」と思える町並みをたくさん描いてくれました。皆さんが想い描いてくれた町並みは、市長さんや街並みを作っていく市の担当者の方々にも見て頂けましたので、きっと自然豊かな中津川市の良いところを残しながら整備されていく町並みの参考にして頂けるものと思います。そして、中津川市が益々暮らしやすい町になっていくために生かされることでしよう!

私たち建築士も皆さんのアイデアに負けないよう、中津川市が少しでも良くなる町並みづくりに貢献できるよう頑張りたいと思います。

関係者の皆様には、この度、沢山の方々のお力添えをいただき事業を進めることが出来たことに感謝を申し上げます。子供たちの豊かで感性溢れる作品がたくさん集まり、これからの中津川市らしい町並みは大人目線よりも子供達の目線が大切ではないかと考えさせられました。

この事業は三カ年の継続事業としており、今回で最終年度として「こんな町並みがあつたらいいな!」を締めくくりとさせて頂きました。建築士会中津川支部は、これからも地域に貢献できる事業を続けていきたいと思っています。今後の事業にも皆様のお力添えを、宜しくお願い致します。

コンテスト主旨

2027年にリニア中央新幹線が開業となり、中津川市には岐阜県駅が出来ます。名古屋～東京をわずか40分くらいで結ぶ夢の新幹線です。そこで中津川市は何を目指していけばいいのでしょうか?大都市の中間駅として、単なる郊外というだけでなく、日本の奥座敷としてのポテンシャル(可能性としての力)を以って地域の発展を目指さなければならないのではないのでしょうか。ただ、5年や10年ではまちは良くなりません。今後20年後のまちづくりのために、次代を担う小学生に、今からまちづくりに関心をもっていただくことが、未来のまちづくりにつながるものと考えます。

そこで、岐阜県建築士会 中津川支部は中津川市の建築のエキスパート集団として、小学生による「デザインコンテストによる住まいづくり・まちづくり学習」を主催し、中津川の伝統と次代のニーズに合ったまちづくりの実現を推進することを目的とします。



審査講評

中津川市内全小学校(18校)の3年生～6年生を対象に募集をしたところ、412点もの応募を頂きました。作品としては、自然を残し、安心安全に住める町並み、中津川の木を生かした町並み、近未来を描いた町並み、動物たちにも優しい町並み、中津川に住んでみたいなと思ってもらえる町並み、など多くの子供たちが中津川市の自然環境を生かしながら町を良くしたいと考えてくれたことに大変感銘を受けました。

社会生活を営むうえで、市民が快適に暮らせ、よその町からも移り住みたい人が増えて活気のある「町並み」という難しい課題であつたにも関わらず、多くの力作がそろい、審査には大変苦慮しましたが、選考の基準としてアイデア、絵の描き方や出来栄え・説明文などを審査の対象とし、選考委員会により審査を行いました。沢山の作品がノミネートされた中、全作品をご紹介したいところですが、今回は入賞した作品のみ紹介させていただきます。



公益社団法人 岐阜県建築士会 中津川支部

〒500-8384 岐阜県岐阜市藪田南5丁目14-12
TEL:058-215-9361 FAX:058-215-9367
<https://www.gifukenchikushikai.or.jp/>
E-mail:info@gifukenchikushikai.or.jp



こんな町並みがあつたらいいな!



コンテスト!!

主催:公益社団法人 岐阜県建築士会 中津川支部

後援:中津川市教育委員会・中津川商工会議所・(協)中津川建設協会